

# にんにく卵黄【青春の元」だより】

( 5 月 号 ) 発行 株式会社パワーボール

『子供の日 <sup>やくどう</sup> 小さくなりし <sup>さつきは</sup> 秋葉つ』 ..... 林 翔(昭和45年作)

5月は、子ども達が躍動する月。五月晴れの空に颯爽と泳いでいる鯉のぼりを見ただけでも、心が浮き立ち明るくなります。

標題の俳句は、昭和45年、今のように靴の使い捨て、履き捨ての時代はまだ遙か遠い時代、古くなるまでそして破けていても物を大事にした頃の句です。成長期の子供は足もすぐ大きくなり、上の子から下の子へ譲っていても、すぐ履けなくなるのです。子供の日に、成長した子供のことを思いながら、その子が残していった小さな靴に心を遊ばせているとてもすてきな句ですね。



タチツボスミレのスケッチ



春の鹿児島市街地と桜島

さて、『青春の元』ご愛用の皆様にはご健勝の事と存じます。一番過ぎやすい5月が来ました。薫風爽やかなこの時季に、明るく楽しい日々を送られますことを、株式会社パワーボールのスタッフ一同心から応援させていただきます。そして不幸にも『東日本大震災』で被災されました皆様方の一日でも早い復興を、この



ちょっと早いガクアジサイのスケッチ

遠い鹿児島の地からお祈り致します。

## 創作『アリン君(にんにく)とレシチン君(卵黄)物語』

再登場しました。よろしく

この物語は、もう3年も前になりますが我が社の社内報『POWER BALL』の平成20年1月7日号に創作物語として登場させたお話です。今月は紙面の都合でそのさわりの部分だけを紹介することになりますが、お許してください。



イメージキャラクター

未解決の命題を、..... 兎にも角にもこの物語は、アリン君とレシチン君の友愛物語ですが、今月は、紙面の都合によりここで筆を置きます。お元気でお過ごしを、 ( 文責 顧問 M.T )

さてさて、『この物語は、古代インドに生まれたアリン君(にんにく)と東インドのマレー半島にいた野鶏が元祖だと言われるレシチン君(卵黄)との友愛物語です』という書き出しで始めたいと思います。

アリン君は、お父さんが畑に蒔いた種(球根)から生まれ、時季が来ると土の中から掘り出され、強い匂いを発散させながら倉庫の土間にその姿を陣取りました。その姿から《にんにく》と呼びました。

レシチン君は、飼い慣らされた鶏の卵の中の卵黄、読者の皆さんはどう思いますか。あの「卵が先か鶏が先か」の今だ解明されない人類